
委員会等活動方針

会 計

担当：大沢日出夫		
----------	--	--

【活動方針】

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 適正な予算執行を行い、収支及び財政の現況を3ヶ月毎に報告する。2. 会長及び幹事との連絡を密にして、会員に分かりやすく適正な会計処理を行う。3. 会費の自動振替制度の促進をはかる。 |
|---|

会計監査

担当：山本完治		
---------	--	--

【活動方針】

<p>クラブ細則第12条第4節の規定に従い、全ての資金について年1回監査を実施する。</p>
--

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 当クラブの資金は、細則第12条第1節の規定により、その予算を限度として執行されているか。2. 同、細則第12条第2節の規定により、管理されているか。3. 同、細則第12条第3節の規定により、適切な方法で支払われているか。 |
|---|

S A A

S A A：江原武男	副S A A：山田二三夫	委員：坂巻幸次、新井 進、神戸廣通、須賀定吉
------------	--------------	------------------------

【活動方針】

<p>会場監督は、会長並びに理事会の方針に基づき、例会が明るく元気に、そして楽しく・正しく運営されるよう常に心を配り、気品と風紀を守り、クラブの秩序を維持するよう努めます。</p>
--

クラブ管理運営委員会

委員長：中里静博	副委員長：澤田裕二 平田徳久	委員：若海宗承、安濃和正、澤幡智史、中村 守 井橋英蔵
----------	-------------------	--------------------------------

【活動方針】

RI会長のテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」であり、ロータリーは「無限の機会への招待」と言っております。また中里ガバナーは地区運営方針を「新たな機会へのチャレンジで、クラブに活力を！」と掲げております。それを受け豊田会長は活動方針を「明るく元気にロータリーを楽しもう!!」とし、サブタイトルで「新たな扉を開けて、新時代を迎え入れよう!」としました。そこで会長方針に則り、各委員会と協力しながら扉を開き、新規奉仕事業に目を向け、記念すべき60周年の年度を楽しく活力あるクラブとなるよう取り組んで参ります。

親睦活動委員会

委員長：澤田裕二	副委員長：木村淳一 中村聡久 濱野世嗣	委員：中島美三郎、小林孝裕、吉野寛治 鈴木 功、安濃和正、森田 隆、中島雅樹 天草大輔、小暮直正、山田託也、小室伸和 稲葉直幸、仲田裕之、小西知之、石川昌俊 野口和幸、井上隆行、常峰光雄
----------	---------------------------	---

【活動方針】

ロータリーは奉仕を目的としています。しかしながら、楽しくなければ奉仕もできないのではないのでしょうか。私たち親睦活動委員会は親睦活動を通して、会員が一年間、ロータリーを楽しめるよう全員で頑張ってお参りますので、ご協力のほど宜しくお願い致します。

1. 結婚祝・誕生祝の記念品贈呈
2. クリスマス家族例会・夫人部会・子ども会の開催
3. 新年例会・花見例会・最終夜間例会の開催
4. 親睦ゴルフコンペの開催
5. 親睦旅行の開催
6. 新会員歓迎会の開催

プログラム委員会

委員長：若海宗承	副委員長：岡田直己	委員：井橋吉一、中村謙治、蓮見典史、高橋和彦
----------	-----------	------------------------

【活動方針】

毎週の例会が、有意義で規律ある楽しいプログラムを心掛け、他委員会と連携をとりながら、会長方針である「明るく元気にロータリーを楽しもう !!」を意識した例会作りに努めます。

1. 会員の皆様からの意見を取り入れながら、出席したくなるような例会にしていきます。
2. 新会員にはイニシエーション・スピーチをお願いし、早くロータリーに溶け込んで頂き、また中堅・ベテラン会員には人生の経験談を語って頂き、会員同士のつながりを大切にするような企画を実施していきます。
3. ロータリー推進月間には、担当委員会と協力して推進月間の理解に努め、実りある例会にします。
4. 例会スケジュールを会長・幹事・SAA・クラブ管理運営委員会の皆様と連絡・調整を取りながら、規律ある例会運営を心掛けます。

ロータリー情報委員会

委員長：安濃和正	副委員長：平田徳久	委員：坂巻邦夫
----------	-----------	---------

【活動方針】

地区運営方針「新たな機会へのチャレンジで、クラブに活力を！」、会長方針「明るく元気にロータリーを楽しもう !!」を実現する為には、会員皆様にロータリー活動への参加をお願いします。またロータリーを楽しむため、クラブに活力を与えるため、ロータリーの情報を最大限発信致します。若手会員には前期・後期とオリエンテーションを行い、活力を与えていきたいと思ひます。

出席委員会

委員長：澤幡智史	副委員長：大塚洋幸	委員：今井陽子、清水勝吉、春山敏實 石垣李枝子
----------	-----------	----------------------------

【活動方針】

1. 地区目標の90%達成を目標とします。創立60周年を盛り上げるためにも、全会員に出席の重要性を訴えると共に、メイクアップの活用・クラブや地区の活動への参加を呼びかけます。
2. 例会の欠席の際には、事前連絡を事務局にしてもらうよう周知します。
3. 委員は受付にて笑顔で挨拶・対応を致します。

会場運営委員会

委員長：中村 守	副委員長：中島雅樹 松永賢一	委員：木内英二、川口一海、飯塚忠幸、奥田正樹 大沢日出夫、井橋英蔵、加藤正信 稲葉直幸、仲田裕之、小西知之、石川昌俊 田村 勝、野口和幸、井上隆行、常峰光雄
----------	-------------------	---

【活動方針】

1. 会員の安心・安全な例会の会場運営を目指します。
2. 例会の進行が円滑に進むよう、運営に努めます。

スマイル委員会

委員長：井橋英蔵	副委員長：濱野世嗣	委員：斎藤順彦、飯塚忠幸、坂田敏信、田村 勝
----------	-----------	------------------------

【活動方針】

1. 会員皆様のメッセージを明るく、効率的かつ正確にお伝え致します。
2. 会員皆様がスマイルをして良かったと思えるように努めます。
3. スマイルをしやすい環境作りに努め、奉仕活動に貢献します。

長期計画委員会

委員長：平田徳久	副委員長：須賀定吉	委員：石河秀夫、神戸廣通、江原武男、鮫島弘武
----------	-----------	------------------------

【活動方針】

創立 60 周年を契機に「新時代に相応しい魅力あるクラブづくり」を目指します。
具体的には、ビジョン声明に則り
「一機会の扉一扉⑤ 長期計画＝クラブの戦略計画（5 年間）→あるべき姿と将来のリーダーの育成」
を実行します。

公共イメージ委員会

委員長：小暮直正	副委員長：大野保司	委員：
----------	-----------	-----

【活動方針】

“ロータリークラブとはどんな組織で、誰が、どんな活動をしているのか？” 地域社会に向けて「ロータリーを知る機会の扉」を開けられるよう、多様なメディアを通じて広報し、公共イメージの向上に努めます。また会員一人ひとりが広告塔としてロータリーの有意義さ・楽しみを一般の人々に向けて PR できるよう、ロータリークラブの活動や意義を再認識しながら共有できる取り組みを心がけます。

1. クラブの奉仕活動や、会員に関する話題をメディア（SNS・地元広報誌など）へ広報し、ロータリーの公共イメージ向上を図ります。
2. 「ポリオ根絶」をテーマに取り入れた活動への協力。世界ポリオデーのイベントなど。
3. My Rotary について、新会員の登録を徹底し登録率 100% を維持します。
4. ロータリーボイス・ブランドリソースセンターなど情報ツールの有効利用を促進し、ロータリーの最新情報や他クラブの模範となるアイデアをクラブ内で共有できるよう心がけます。

クラブ会報委員会

委員長：小暮直正	副委員長：高橋和彦	委員：澤石順一、永島信之、江藤真吾、大澤弘一 坂田敏信、石垣李枝子、干場明秀 鈴木隆広
----------	-----------	---

【活動方針】

例会プログラムや委員会活動・クラブの奉仕活動等を記録し、会員へ向けてロータリー情報の取得に役立つ会報を作成します。

1. 会報発行期限は、次回例会までとします。
2. 会報は適切な分量・レイアウトに編集し、読みやすい内容になるよう心がけます。
3. 会報をホームページに掲載し、ロータリークラブの活動を対外的に発信します。

雑誌広報委員会

委員長：大野保司	副委員長：中川 訓	委員：井橋武治、大野光政、水野泰男、中川美紀
----------	-----------	------------------------

【活動方針】

1. 「ロータリーの友」「ガバナー月信」に対する、会員の関心を高め、愛読を薦める事によってロータリーに関する知識の向上を図ります。
2. 「ロータリーの友」の地区に関する記事等の注目記事を会員に紹介し、理解と関心を深めます。
3. 「ロータリーの友」への会員の投稿を勧めます。

会員増強維持委員会

委員長：中島美三郎	副委員長：松田繁三 中村聡久	委員：小林秀男、井橋吉一、新井 進、外崎博之 鳥羽瀬建男、稲村敏伸、吉村総一 小林威朗
-----------	-------------------	---

【活動方針】

クラブ継続の源は「会員増強維持」ではないでしょうか。そして、創立 60 周年の節目となる本年、会長方針でもあります“純増 10 名”を目標と致します。目標を達成する為には、① 現会員の維持、② 新会員 10 名以上増強、③ 女性会員 10% 以上・若い世代の会員増強にチャレンジ致します。会員諸兄のご支援とご協力を、何卒宜しくお願い致します。

会員構成委員会

委員長：若海宗承	副委員長：増元 晃	委員：
----------	-----------	-----

【活動方針】

1. 会員増強維持委員会・会員選考委員会と連携し、ロータリアンとして相応しい会員の増強に力を入れます。
2. バランスの取れた会員構成となる様に、現況の職業分類分析を常に心掛け、会員増強に寄与します。

会員選考委員会

委員長：木内英二	副委員長：森 仁三	委員：井橋武治、鈴木幹夫、桃木俊郎、相良哲郎
----------	-----------	------------------------

【活動方針】

会員増強維持委員会・会員構成委員会と相互に協力し、推薦された会員候補についてロータリアンとしての適格性を調査・検討・判断する。

1. 会員候補者の社会的評価の調査。
2. 会員としての適格性の検討。
3. 奉仕活動に対する姿勢や意欲の確認。
4. 例会・クラブ行事への参加意欲有無の確認。

奉仕プロジェクト委員会

委員長：鮫島弘武	副委員長：浅見富司雄	委員：横家 豪、安濃和正、吉村総一
----------	------------	-------------------

【活動方針】

1. 奉仕活動は、人間が社会的に生きていく上での本能的活動である。社会人として自己の基本的生活に余裕ができた時、その余裕を奉仕活動する事により相手も自己も幸せに満たされる。決して一方的なものではない。日本人は表立った奉仕に対し恥ずかしさを持ちがちであるが、当たり前行動である。会員が自然と奉仕できる事を目指し、その機会を提供する。
2. 一人でできる奉仕には限りがある。人数が集まり、ある程度の資金、マンパワーが必要である。具体的には、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の各委員会を通じ奉仕活動を考え、実行する。

職業奉仕委員会

委員長：浅見富司雄	副委員長：鈴木隆広	委員：桃木俊郎、相良哲郎、川口一海、外崎博之 小林孝裕、下川雅丈、清松瑤一郎 野見山哲二、天草大輔、中川美紀 春山敏實
-----------	-----------	--

【活動方針】

ロータリーの根幹と言われている職業奉仕の概念を体系的に学び、事業及び専門職務の道徳的水準を高め、職業を通じて社会に貢献し、奉仕する心を強く持ち、地域の市民や各団体等に啓蒙活動をして参ります。

1. 第一例会で「ロータリーの目的」並びに「四つのテスト」の唱和を行う。
2. 職場見学会を実施。
3. 会員の健康維持増進を図るための検診プログラムを提供する。

社会奉仕委員会

委員長：横家 豪	副委員長：大澤弘一	委員：木村淳一、岡田直己、中村 守、小林威朗 永島信之、奥田正樹、澤幡智史、松永賢一 加藤正信、小室伸和、堀 貴宣、干場明秀
----------	-----------	--

【活動方針】

社会奉仕委員会では、地域社会のニーズに適合する持続可能な社会奉仕事業を構築・実施します。具体的な内容は以下のとおり。

1. 第46回越谷市民まつりは中止となりましたが、越谷RCの恒例事業である「三ノ宮卯之助に挑戦 越谷力持ち大会」の更なる可能性を模索・検証し、未来に向けて、より郷土に根ざした内容の社会奉仕事業をデザインします。
2. 地域の奉仕関連団体と連携した事業（①地区補助金大口粋事業②ゴミゼロ運動への協力）を行います。
3. 災害発生時に、被災地等への義援金を募ります。
4. 地区ブライダル委員会に協力します。

国際奉仕委員会

委員長：安濃和正	副委員長：大塚洋幸 牛久祐一	委員：山田二三夫、澤田裕二、坂巻邦夫 森 仁三、深野洋二、山本完治、澤石順一 丹田益生、平田徳久、近藤正成、堀 貴宣 中川 訓
----------	-------------------	--

【活動方針】

国際奉仕事業・国際大会・60周年と明るく元気にロータリーを楽しむ為に委員一同で全力を尽くします。

『機会の扉を開く』

1. 感動の扉
地区補助金事業に大勢の会員皆様の参加をお願いします。
2. 楽しみの扉
今年度は隣国 台湾での国際大会に大勢の会員皆様の参加をお願いします。
3. 友情の扉
60周年式典へ参加の姉妹クラブ・友好クラブの皆様との交流を深めます。

青少年奉仕委員会

委員長：吉村総一	副委員長：深野洋二 山田託也	委員：鈴木幹夫、吉野寛治、下川雅丈、斎藤順彦 松田繁三、野見山哲二、蓮見典史 増元 晃、稲村敏伸、今井陽子、大野保司 牛久祐一
----------	-------------------	--

【活動方針】

次世代を担う青少年の健全な育成に力を注ぐと共に、新たな扉を開く機会を提供します。

1. 青少年交換
地区青少年交換委員会と連携を取りながら、次年度に青少年プログラムが再開できるよう準備を進める。
2. ローターアクトクラブ
ロータリー活動を理解してもらい、活動の企画・運営を協力・支援し、地区や地域の活動にクラブと共に積極的に参加するよう助言をする。文教大学 RAC 創立 10 周年を記念する行事の開催を促し、関係者と旧交を大切にしながら、クラブの活性化に向けて支援していく。
3. RYLA (大学生・青年のリーダーシップ養成プログラム)
RYLA 研修は、次世代のリーダーを育てる素晴らしいプログラムなので、大学生をはじめクラブ会員の子弟・従業員が参加できるように、相互理解を深めグローバルな青少年育成を継続的に支援していく。
4. 地区やクラブのイベント
イベントに積極的に参加して頂き、インターアクト (12 歳～18 歳)・ローターアクト・交換留学生へ交流を促す。また奉仕活動の情報を発信し、活動を通して地域の方々に知ってもらう機会を提供する。

米山記念奨学委員会

委員長：江藤真吾	副委員長：清水勝吉	委員：大野光政、浅見富司雄、鈴木 功 鳥羽瀬建男
----------	-----------	-----------------------------

【活動方針】

2020年は戦後75年を数えますが、米山記念奨学事業設立の背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために「平和日本」を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという、戦後のロータリアンたちの強い願いがありました。平和はいつも当たり前にあるのではなく、人々が努力して維持していかなければならない事を再認識し、本年度も米山記念奨学事業がより充実されるよう努めて参ります。

1. 米山記念奨学事業の目的と意義を、クラブ会員に理解を深めて頂くよう努めます。
2. 「ロータリーは機会の扉を開く」を念頭に、寄付者率の向上に努めます。
3. 奨学生にはクラブ例会の積極的な参加を促し、会員との交流を深めて頂けるよう努めます。

ロータリー財団委員会

委員長：近藤正成	副委員長：丹田益生	委員：水野泰男、中村謙治、清松瑤一郎 横家 豪
----------	-----------	----------------------------

【活動方針】

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する事を通じて、世界理解・世界親善・世界平和を達成できるようにする事です。これを基にロータリー財団について会員皆様に情報を提供し、財団プログラムへの参加と寄付意識、並びに寄付者率の向上を目指します。

1. 年次基金／会員一人当たり250ドル（年次寄付200ドル＋ポリオプラス50ドル）の目標達成に努めます。
2. 恒久基金／新たな（初めての）ベネファクター1,000ドル×2名の目標達成に努めます。